

# 2023 ルール改正点 チーム用

神奈川県ソフトボール協会審判委員会

2022年版掲載頁→P9～10 2023年版掲載頁→P11～12

1-2 項 アピールプレイ APPEAL PLAYとは、審判員が監督、コーチ・プレイヤーに要求されるまで判定をすることができないプレイで、正しい投球、不正投球にかかわらず次の投球動作に入る前になされなければならない。

また、インニングの終了のときは守備者全員がフェア地域を離れるか、審判員が試合終了の宣告をする前にしなければならないプレイをいう。

なお、監督やコーチによるボールデッド中のアピールは、競技場内(ベンチを含まない)に入った後にしかできない。

【例外】無通告交代、再出場違反、DP 違反、代替プレイヤー違反のアピール権は、当該プレイヤーが交代するまで継続され、消滅することはない。

アピールプレイは次の9つの場合である。

- (1)走者が塁を空過したとき。
- (2)飛球に対して走者の離塁が早過ぎたとき。
- (3)打順誤りがあったとき。
- (4)打者走者が一塁通過後に二塁へ向かおうとしたとき。
- (5)無通告交代したとき。
- (6)代替プレイヤー違反があったとき。
- (7)再出場違反があったとき。
- (8)DP 違反があったとき。
- (9)タイブレークの走者にルール違反があったとき。

2022年版掲載頁→P22 2023年版掲載頁→P24

1-69 項 テンポラリーランナー TEMPORARY RUNNER とは、投手・捕手が塁上の走者となっていて二死となったとき、あるいは二死後、投手・捕手が出塁し、走者となったとき、投手・捕手の代わりに走者となる選手のことである。テンポラリーランナーと交代させるかどうかは、攻撃側チームの選択である。

テンポラリーランナーは、塁上の走者以外の選手で、打順が最後に回ってくる者とする。

2022 年版掲載頁→P40～P41 2023 年版掲載頁→P42～P43

### 3-7項 ユニフォーム

#### 4.アンダーシャツ

(1)プレイヤーのアンダーシャツは同色でなければならない。すべてのプレイヤーがアンダーシャツを着用することは必須ではないが、一人でもアンダーシャツを着用する場合は、他のプレイヤーは同色のものを着用しなければならない。また、どのプレイヤーも、露出したアンダーシャツの袖が ほつれ、擦り切れたり、スリットが入ったものを着用してはならない。

(2)アームスリーブ(腕の保護ガード)を着用する場合は、アンダーシャツの着用と同様のルールを適用し、片腕または両腕にアンダーシャツと同色のものを着用しなければならない。

(注)片腕のみの使用は禁止する←(注)は削除

2022 年版掲載頁→P51～P52 2023 年版掲載頁→P54

#### 4-11 項 テンポラリーランナー

投手・捕手が塁上の走者となっていて二死となったとき、あるいは二死後、投手・捕手が出塁し、走者となったとき、投手・捕手の代わりにテンポラリーランナーを使用することができる。

(1)テンポラリーランナーと交代させるかどうかは、攻撃側チームの選択である。

(2)二死後であれば、いかなる時点でもテンポラリーランナーを使用することができる。

(3)テンポラリーランナーを使用するときは、塁上の走者以外の選手で、打順が最後に回ってくる者をテンポラリーランナーとする。

(注)テンポラリーランナーに間違った選手が出た場合には、正しい選手と交代させる。(それに対するペナルティはない)

2022 年版掲載頁→P55 2023 年版掲載頁→P57～P58

#### 5-6 項 タイブレーク

8回の表から無死・走者二塁を設定して攻撃を継続する。二塁走者は前の回の最後に打撃を完了した者とし、打者は前回から引き続く正位打者(正しい打順の打者)とする。

〈効果〉

タイブレークの走者にルール違反があった場合(本来タイブレークの走者になるべき

選手が走者として出場しなかった場合)は、

(1)アピールプレイ

(2)違反した走者がアウト

守備側のアピールは、違反した走者が塁上にいる間に行わなければならない。守備側がアピールする前に、攻撃側が正しい選手に走者を交代させた場合は、ペナルティはない。

タイブレークの走者にルール違反があった場合(本来タイブレークの走者となるべき選手が走者として出場しなかった場合は本年度のルール改正で「アピールプレイの対象」となったが、

ペナルティを与えることが目的ではなく、無用な混乱を避ける為、ルール改正初年度【2023年度】は、あえてこの一文を残し、「指導しても良い」事とした。

#### 10-1 項 権限と義務

13. 審判員は、ルールに従って打者または走者をアウトにする場合は、アピールを待たないで決定できる。

(注) 審判員は、走者の空過、飛球に対して走者の離塁が早過ぎたとき、打順誤りがあったとき、打者走者が一塁通過後に二塁に向かおうとしたとき、無通告交代(不正交代したとき)、代替プレイヤー違反があったとき、再出場違反したとき、DP違反があったとき、タイブレークの走者にルール違反があったときは、アピールがあつてから適切な処置をする。

#### ※修正理由

1-2項の「アピールプレイ」が、ルール改正により、「9つ」に増え、(9)に「タイブレークの走者にルール違反があったとき」が新設されたため、そのルール改正に合わせ、修正を行った。